

寺報

No.674

令和5年10月

蓮華寺
發行

御聖訓

わざわいは口くちより出いで、身みをやぶる、さいわいは心こころより出いで、我われをかざる。

『重須殿女房御返事』



(解説)

我々人間が口を使い、お互いの意志を確かめ合える事が出来るという事は誠に有り難い事であります。しかしその反面、つい言いすぎてしまい、相手を大いに傷つけてしまったり、また心で思った事がうまく伝わらず相手に不愉快な思いをさせたりする事がしばしばあります。

まさに口はわざわいの元、我々も同じく誰かに何か悪口を言われた事で怒ったり、逆に言った事で相手を怒らせたりしています。

そして、つい自己中心的な考えになり、相手を批判し、争いを起こしたりしています。

日蓮大聖人は、これがついには自分の身を破るものであるから、気を付けなければいけないと戒めています。

しかし、我々がとらわれのない『慈悲の心』を持って誰にでも接する事が出来るのなら、相手にも傷が付かず、また自身も一段と飾られる事になるのだらうと教えられました。

その為には法華経・お題目の修行しかないのです。

御会式

十月二十二日(日)

午後一時より



万灯行列

※法要終了後、ご法話あり

毎年好評の『大平上人』が今年もお話をします。

* 本年は、第七百四十二回目のご法事に当ります。

檀信徒の皆様は、必ずご参拝、ご焼香し、日蓮大聖人様へ御報恩の誠を尽しましょう。

* お経は、『如来神力品第二十一』の中頃「爾の時に佛、上行等の菩薩大衆に告げたまわく」から読みますので、皆様もご一緒にお唱えしましょう。

* 先祖・仏様のご供養(諷誦文)と日蓮大聖人御報恩謝徳【各千円・お札付】をお受け致します。

* お供物も受付けています。

* 法要終了後の『ご法話』も必ずご聴聞下さい。

『御会式』の意義

『御会式』は日蓮大聖人のご命日の日で、皆様の家ではご法事に当ります。

特に東京池上本門寺の『御会式』は有名で、青森市の人口以上の信者が参拝します。

当日、たくさんの人が『万灯』という飾り物をつぎながら行列してきますと、「ああ、今年も御会式の時期が来たなあ」と近隣の住民は感じるそうです。

しかし、あまりの賑やかさに、この行事が日蓮大聖人のご命日とは知らないで、逆に大聖人のお誕生日だと思っている方もいるようです。

普通、法事といえばしめやかに、おごそかにお勤めをするべきなのでしょう。

だが、我々は、大聖人の死を悲しむのではなく、その出会いにより、ありがたいお題目を教えた下さった事に報恩感謝して行く必要があるのです。

「お祖師様ご安心下さい。みんな元気に教えの通りお題目を唱えていますよ。どうぞこの様子を見て下さい。」と大聖人にご報告し、自信を持って日蓮宗信徒

としての証しを示していくべきなのです。

『ここは池上 本門寺 チン チキチキ チンチキチン』一貫三百どうでもいい まんど まんどサツサ まんどサツサ』

これは、御会式特有のおハヤシですが、ここでいう「一貫三百」とは、江戸時代頃の職人さんの日当だそうです。

つまり、一日分の給料をファイにしても『御会式』にはお参りしたいという当時の人の信仰にける情熱と熱心さがうかがえる言葉ではないでしょうか。

これに比べて、現代の人の信仰心はどうでしょうか。「日蓮大聖人のご法事ですからお寺にお参りに来て下さい。」とご連絡しても「やれ忙しい」とか「今日は遊びに行かなきゃいけない」とか様々な理由をつけてなかなかお寺に足を運びません。

我々は日蓮宗の檀信徒です。

日蓮大聖人のお説きになった『南無妙法蓮華経』のお題目によって、先祖も仏様も我々も救われているのです。

もう一度原点に戻りまして、ご報恩というものを考えてみてはいかがでしょうか。

檀信徒研修会のお知らせ

☆十月二十八日(土)

聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

* 『聖典の読誦(三十分)と唱題行(三十五分)』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時間：午後七時より

場所：小本堂【イス席です】

持参品：聖典(事務所)・数珠・太鼓(所有者)

* 月一度の修行ですので、この機会を逃さず、お経とお題目を大きな声を出して心から唱えましょう。

* ご自分の修行の為、懺悔滅罪(反省)の為、家族や友人の為、また仏様や先祖の供養の為、と各々の各自の目標に向い頑張って修行して下さい。

『提灯』の募集!

当山で『御会式』『鬼子母神大祭』『お正月』に下げます『提灯』(トローラー)を募集致します。

作成価格は八千円、年間の管理費が二千円ですので、初年度は一万円となります。

〔盛運祈願会〕に参拝し

お守りを戴きましよう

我々は先祖や過去の因縁により、知らず知らずの間に悪業の種をまき、思いも知れない悪運に見舞われる時があります。

このような状況から、常に我々の身を守ってくださいのが『俱生霊神符』（毎月のお守り）であり、更にその月の運勢が良くなりますようにと、ご本尊様に祈念する行事を「盛運祈願会」といいます。

蓮華寺檀信徒の皆様は、この為に毎月ついたちの午後一時からの行事に参拝し、より強いご守護を戴きますようにと祈り、そしてお守りを交換しています。

しかし、中にはお守りのみを求め、「盛運祈願会」に参拝しない方もいます。

我々は、常にご本尊・日蓮大聖人・諸天善神へのご報恩感謝を忘れてはいけません。

どうか皆様は「盛運祈願会」には必ず参拝して、自ら法華経・お題目を唱え、そしてお守りを戴くようにならしましょう。

◎日蓮大聖人

聖語カレンダー《限定販売》

日蓮宗新聞社発行で、縦58横38センチです。

一ヶ月で一枚、上半分に大聖人のお言葉とその解説、下半分がカレンダーで、干支・二十八宿・旧暦が書かれ、更に宗門聖日（日蓮宗で重要な日）も出ております。

一部・・・五〇〇円
◎令和六年度「暦」
一部・・・一五〇円

☆霊断

檀信徒の皆様で、日頃から何か困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識霊断法』にて当山僧侶が解決、ご指導致します。

霊断と『霊』の字がありますが、霊を呼び出してなどという事は決してありませんのでご安心下さい。なお、宗旨宗派は問いませんし、秘密厳守です。

【ご相談料は一件につき三千元です】
必ずご予約をお願い致します。 ☎77615840

竜ノ口御法難会

十月十三日（金）

午後一時より

於…大本堂



*参拝者には全員、オハギをご供養致します。

同じアンコロモチですが、秋はオハギ（お萩）・春はボタモチ（牡丹餅）といわれています。

*お供物も受け付けます。

④『竜ノ口御法難会』は「十三日講」のお勤めの中で執り行います。

『位牌壇』の募集！

◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様のご先祖様や仏様は今後代々に渡り守り続けられていきます。

◎仏様のご命日に当る日に、諸用や旅行などで不在の時でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またご依頼があればお経も唱えさせて戴きます。

◎特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来ます。

◎最近の仕事などの関係から、家族が地元に住めずに仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を預かり青森に帰省した時にお参りをする方達も増えてきていますが、それでも大丈夫です。

◎一年以上使用の方で、現在空いています上位の位牌壇をご希望の方には、数がある限り無料でお譲りしています。

ですから、三席から特席に上がる事も可能です。

詳細は事務所まで！

『七五三』のお知らせ

当山では毎年『七五三』のご祈禱を行っております。

『七五三』は本来「数え年」で行うものですから、

◎七歳・平成二十九年生れの女兒

◎五歳・平成三十一年生れの男児

◎三歳・令和三年生れの女兒

となりますが、ご家庭の事情により「満年齢」でも構いませんので、子供さんの幸せと発育を願いまして、日蓮宗の特別のご祈禱をお受け下さい。

なお、子供さんには「鬼子母神木札」「千歳飴」「干支のキーホルダー」「記念写真」を差し上げますのでどうかお早めに、ご予約を戴きますようお願い致します。

※用意する物・御神酒一升(ご本人の名前を書く)



『靈神符』を持ちましょう!

最近は何いもよらない事故・事件・災害が多発して特に、お子さんやお年寄りが多く巻き込まれている状態です。

檀信徒の皆様も「私だけは大丈夫」というお考えはお止めになりまして、素直に毎月『靈神符』(お守り)を肌身離さずお持ちになりますようお願い致します。



【二体・百八十円】

『聖徒団会員』募集!

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞『聖徒タイムズ』・寺報等の援助などに活用します。

会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

大本堂屋根の『鬼飾り』が完成しました

工事が遅れていました大本堂の屋根の修理と『鬼飾り』の部分が、今般九月中旬に無事完成しました事をご報告致します。

十月の行事

一日(日)『盛運祈願会』 午後一時より

- ・ 毎月のお守り【靈神符】の交換の日です。
- ・ お勤めに参拝し、お経とお題目を唱えましょう。
- ・ 檀信徒の方は必ずお守りを持ちましょう。



十三日(金)『日蓮大聖人のご命日』 午後一時より

- ・ お経 (如来神力品第二十一 (訓読・日本語読み))
- ・ 如来寿量品第十六 (真読・漢字読み)
- ・ 日蓮大聖人の御報恩を忘れずに参拝しましょう。

十三日(金)『竜ノ口御法難会』 午後一時より

二十二日(日)『御会式』 午後一時より

二十八日(土)『檀信徒研修会』 午後七時より

二十九日(日)『妙見小祭』 朝のお勤め中

☆奉仕のお知らせ

十九日(木)『御会式』の準備・・・午前九時より

- ・ 一般檀信徒の皆様・教宣部男女
- ・ 『御会式』の際、大本堂に飾る桜の花は、毎年教宣部と檀信徒の皆様が奉仕で作られています。
- ・ どなたでも参加出来ますので、日蓮大聖人様への御報恩の為、よろしくご協力をお願い致します。

* 大本堂の幕、ノボリ、ちようちん、祭壇等の準備

二十二日(日)『御会式』のお手伝い

- ・ 教宣部男女・・・午前十時より

二十三日(月)『御会式』の後片付け

- ・ 教宣部男女・・・午前十時より

* 大本堂の幕、ノボリ、ちようちん、祭壇等の後片付け
④『御会式』は大行事ですので、準備、後片付け等が大変です。

沢山の方々のご奉仕をよろしくお願い致します。教宣部員以外の檀信徒の方も歓迎致します。時間までお出下さい。

◎教宣部長・杉淵昌三

お 会 式 御 会 式

*法 要

十月二十二日(日)

午後一時より

※法要終了後・御法話

講 師：日蓮宗靈断師会・指導局長
広島市・龍華寺住職

大平 貫脩 上人



※檀信徒の皆様は、『御会式』法要には必ず参拝し、
日蓮大聖人様へご報恩のご焼香致しましょう。

※日蓮大聖人様の御報恩謝徳と先祖・仏様のご供養
【諷誦文】(お札付・千円)、お供物等をお受け致します。